

## 弘大ウェルビーイング領域拠点

# 総合研究所が開所

### カワチ「新知見、示したい」 最高顧問

弘前大学(福田眞作学長)  
は12日、Well-being

ing(ウェルビーイング)は  
心身および社会的に健やか

で幸せな状態)領域の研究  
拠点となる「グローバルW  
ell-being 総合研  
究所」の開所式を行い、イチ  
ロー・カワチ最高顧問らが  
テープカットで船出を祝っ  
た。研究所では分野の枠を  
超えた総合知と産学官民金  
の連携で、世界的な先端研  
究・実証・開発に取り組む。  
本格始動は来年4月から。  
世界で重視される「ウェ  
ルビーイング」。弘前大は  
ウェルビーイング領域の世  
界的な卓越研究大学群の構  
築を掲げ、今年1月に国の  
「地域中核・特色ある研究  
大学強化促進事業(J-P  
EAKS)」に採択された。  
研究所はその拠点となり、  
開所式でテープカットする  
福田学長(右から2人目)、  
カワチ最高顧問(同3人目)  
ら

国内外の研究者ら100人  
ほどが所属、住民合同健診  
「岩木健康増進プロジェクト」で蓄積された健康ビッ  
グデータを核に研究を進め  
ていく。

式典で福田学長は「(同  
研究所では)地域課題の解  
決と国際的な研究を進め  
る。本学の将来ビジョンを  
具現化することにも、研究  
成果を社会に還元し、地域  
と世界、双方に貢献するた  
め成長していく」とあいさ  
つした。

カワチ最高顧問は取材に  
対し「日本は長寿でありな  
がら幸福度が低い。健康ビ  
ッグデータを核にさまざま  
な研究を進め、新たな知見  
を示したい。青森県、日本  
そして世界のウェルビー  
イングに貢献するため、世界  
中から若手研究者を集める  
など人材育成にも力を入れ  
ていく」と語った。

石橋恭之所長は「全学を  
挙げて研究に取り組む」と  
強調。同研究所に集結する  
国内外の研究者らに対し  
「視野を広げ、社会課題を  
解決する新たな糸口を見い  
だしてほしい」と期待を寄  
せた。  
(稲葉智絵)